

<発表資料>

2021年9月27日 21095

高めの血圧・内臓脂肪にダブルの効果、コーヒー豆由来クロロゲン酸類配合 「ヘルシアW いいこと巡り」シリーズ 新発売

花王株式会社(社長・長谷部佳宏)は、2021年10月7日、「ヘルシア」から、「ヘルシアW(ダブル) いいこと巡り」シリーズを新発売いたします。本シリーズは、「高めの血圧を下げるのを助ける」と「内臓脂肪を減らす」の2つの機能性が報告されているコーヒー豆由来クロロゲン酸類を機能性関与成分として配合した機能性表示食品です。

そのままお飲みいただけるボトル入り飲料(ブレンド茶飲料)と、溶かし方のアレンジも可能な粉末飲料(コーヒー風味、黒豆茶風味)の、計3タイプをラインアップ。高めの血圧や内臓脂肪が気になる方に向けて、生活スタイルやお好みに合わせて選べる、続けやすい健康習慣としてご提案いたします。



左から『ヘルシアW いいこと巡り茶』『ヘルシアW いいこと巡り コーヒー風味』
『ヘルシアW いいこと巡り 黒豆茶風味』

1. 発売のねらい

内臓脂肪は、その過剰な蓄積が生活習慣病に繋がる可能性が指摘される健康指標のひとつです。2008年から始まった国の取り組み「特定健診・保健指導」の項目に、内臓脂肪の間接的指標として腹囲の測定が導入されました。それにより、内臓脂肪を気にしており、かつ改善したいというニーズを持った方が多くいらっしゃいます。一方、高血圧は、喫煙と並び日本人にとって最大の生活習慣病リスク要因と言われており、20歳以上の2人に1人は高血圧、という実態となっています※1。

花王が2020年7月に実施した調査※2でも、加齢とともに血圧の悩みを抱える方の割合は増える傾向がみられ、特に男性40代以上では、「血圧」を気にしている方の約7割が同時に「脂肪」も気になっていることが分かりました。この調査結果を日本の人口で推計すると、「血圧」と「脂肪」両方に悩みがある方は約1,400万人となります。

※1 「日本人の高血圧の最大の原因は、食塩のとりすぎです。若年・中年の男性では、肥満が原因の高血圧も増えています。飲酒、運動不足も高血圧の原因です。高血圧は喫煙と並んで、日本人にとって最大の生活習慣病リスク要因です。」厚生労働省 生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット

※2 花王調べ 首都圏 20-70代男女 2029人

そこでこのたび花王は、高めの血圧や内臓脂肪が気になる方に向けて、「高めの血圧を下げるのを助ける」「内臓脂肪を減らす」の2つの機能性を有するコーヒー豆由来クロロゲン酸類を配合したボトル入り飲料『ヘルシアW いいこと巡り茶』を開発いたしました。『ヘルシアW いいこと巡り茶』は、機能性表示食品の茶系飲料で日本初^{※3}の、「高めの血圧」「内臓脂肪」をダブルで訴求する飲料です。こだわりの5種の穀物で香ばしいブレンド茶に仕上げました。併せて、牛乳などでのアレンジも可能で、ホットでもコールドでも、また持ち運びやおうちストックにも便利な、粉末飲料「ヘルシアW いいこと巡り」（コーヒー風味、黒豆茶風味）も発売。計3タイプの「ヘルシアW いいこと巡り」シリーズを通じて、生活スタイルやお好みに合わせて選べる、続けやすい健康習慣を提案いたします。

※3 2021年8月機能性表示食品DB 茶系飲料として

花王では、日常生活での健康意識を高めるツールとして、内臓脂肪レベルを推計できる独自のシステムを採用した「モニタリングヘルス」をLINEにて展開しています。「ヘルシアW いいこと巡り」シリーズの発売を機に血圧記録機能を加え、これからも生活者の方々へ日々の健康状態のモニタリングの機会を提供していきます。

花王は、ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」のもと、事業戦略にESGの視点を導入し、消費者や社会へのよりよい製品・サービスの提供をめざしています。「ヘルシア」はライフケアブランドとして、いつまでも自分らしく暮らすことのできる、笑顔あふれる健康社会の実現に貢献してまいります。

2. 商品名／内容量／価格／商品特長

商品名		内容量	メーカー希望小売価格
ヘルシア W いいこと巡り茶 (届出番号:F643)		500ml	194 円<税込> (180 円<税抜>)
ヘルシア W いいこと巡り	コーヒー風味 (届出番号:F637)	15 本入	各 2,916 円<税込> 各 (2,700 円<税抜>)
	黒豆茶風味 (届出番号:F638)	15 本入	

【商品特長】「高めの血圧を下げるのを助ける」「内臓脂肪を減らす」コーヒー豆由来クロロゲン酸類を配合。血圧が高めの方、内臓脂肪が気になる方に(機能性表示食品)

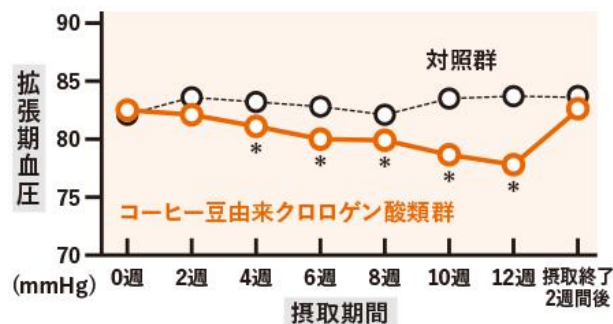
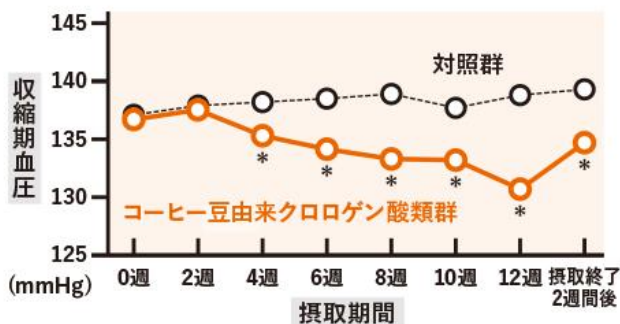
【機能性関与成分】 コーヒー豆由来クロロゲン酸類

【届出表示】本品はコーヒー豆由来クロロゲン酸類を含みます。コーヒー豆由来クロロゲン酸類には、BMIが高めの方の内臓脂肪を減らす機能と血圧が高めの方の血圧を下げる機能があることが報告されています。

3. 発売日／地域 2021年10月7日 / 全国

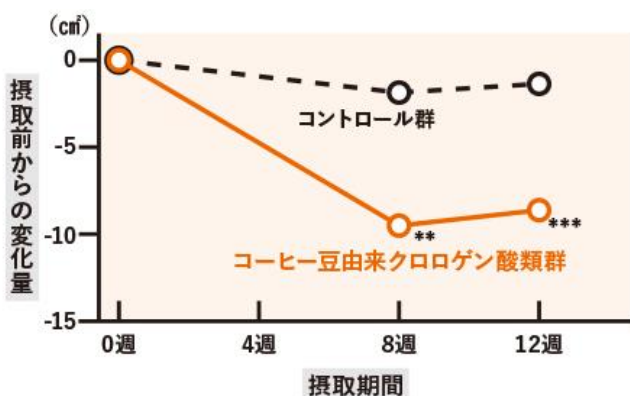
4. 機能性関与成分:コーヒー豆由来クロロゲン酸類について

■ 高めの血圧を下げる機能性について



被験者: 血圧が高めの男女88名 / コーヒー豆由来クロロゲン酸類300mg/日を、12週間継続摂取(対照群(プラセボ)は0mg/日) / *: p<0.05(対照群との比較) / Prog.Med.27.683-694(2007)より作図: 研究レビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。(血圧が高めとは、収縮期血圧130~139mmHg、または拡張期血圧85~89mmHgのことです。)

■ BMIが高めの方の内臓脂肪を減らす機能性について



被験者: BMI25以上30未満の健常男女(平均腹部内臓脂肪面積117cm²)142名 / コーヒー豆由来クロロゲン酸類319 mg # /日を、12週間継続摂取(コントロール群は30mg # /日) # 6種クロロゲン酸量として / 腹部CT画像から計測 / **: p<0.01; ***: p<0.001 (コントロール群との比較) / Nutrients 2019, 11(7), 1617より作図: 研究レビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。

- ※ 食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。
- ※ 本品は国の許可を受けたものではありません。
- ※ 本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。